楽しくて、安全で、ほっとする

参加費無料

軽食あります

地震と津波を体験した子どもと
大切な人を亡くした子どもの

あそびのいえ

～いっしょにあそぼう!!～

とき 2017年 7月 3日（月）午後6時30分～8時
5時30分から軽食を用意してお待ちしています

ところ 東松島市・野蒜市民センター （野蒜ヶ丘1-15-1）

定員 15人 （定員になり次第締め切り）

対象 小学生 から 高校生 の
地震と津波を体験した子ども、大切な人を亡くした子ども

●なにをするところ？
地震と津波にあった子どもたちが集まって、楽しくあそび、話ができます。

●なにをしてあそぶの？
ハワイのアクセサリーをつくったり、工作をしたり。そのほかにも、集まった子どもたちと好きなあそびがいろいろできます。

●なんで「津波を体験した子ども」で集まるの？
地震や津波など同じような体験をした子ども同士が集まることで、地震や津波のことを安心して話すことができます。

●どんな大人がいるの？
みんなが安心してあそび、話ができるように、サポートする大人がいます。

●みんなと話したい！でも、答えたくないこともあるけれど、どうしよう？
ここでは、みんなが安全に過ごすために少しだけルールがあります。その中に「言いたくないことは言わなくてもいい」などがあります。安心して参加してください。

主催／朝日新聞厚生文化事業団、後援（申請中）／東松島市、東松島市教育委員会
協力／Kids Hurt Too Hawaii、東松島グリーフケア研究所

地震と津波を体験した子どもと
大切な人を亡くした子どもの

あそびのいえ

保護者のみなさんへ

津波や地震でたいへんな経験をした子どもたちの心の衝撃は、周囲からは見えにくく、本人でさえ気づかず一人で抱えていることが少なくありません。周囲の人が気づいても、どうしてよいのか分からないこともあるでしょう。親しい人を亡くした子どもたちにはなおさらです。

こうした子どもたちには、遊びや会話を通して、時間をかけて自分自身の気持ちを解きほぐしていく癒し（グリーフケア）が必要です。「あそびのいえ」は、このグリーフケアの場です。

プログラムは、米国や日本の子どものグリーフケアに大きな影響を与えている米国ハワイ州のキッズ・ハート・トゥー・ハワイ創設者シンシア・ホワイトさんの指導のもとに行う安全なものです。また、治療を目的とするカウンセリングとは異なるものです。

近年、近親者を亡くすなど、喪失を体験した大人へのグリーフケアは各地で始まっていますが、子どもへの取り組みは、まだ広まっていません。

私たちは、子どもたちが安心と希望を持って暮らすために、地域のみなさんと一緒に子どもたちの癒し（グリーフケア）に取り組んでいきたいと考えています。

- 「あそびのいえ」開催中、保護者のみなさんには、美味しいコーヒーなどを飲みながらの茶話会がありますので、ご参加ください。
- 子どもが安心して参加できるよう、茶話会に参加されない保護者のみなさんには、連絡が取れる状態で、付近でお待ちいただけますようお願いします。

キッズ・ハート・トゥー・ハワイ(Kids Hurt Too Hawaii)

「Kids Hurt Too」は「子どもの心も傷ついている」の意味。見過ごされてしまうことの多い死別や離婚、虐待などで身近な人と離ればなれになった子どものグリーフやトラウマのケア（癒し）を重視して実践するハワイ州ホノルル市が拠点のNPO。ハワイで実施する支援者養成プログラムには、各国から参加があり、グリーフケアの指導者を養成する取り組みを日本でも行っています。

お申し込み方法

参加希望の方の①名前(ふりがな、保護者名も)②〒・住所③電話番号④FAX⑤生年月日・学年を明記の上、ＥメールかFAXでお申し込みください。

お申し込み・お問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団「東松島あそびのいえ」係
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
Tel:03-5540-7446　Fax:03-5565-1643
Email:childg@asahi-welfare.or.jp
http://www.asahi-welfare.or.jp/

アクセス

野蒜市民センター（東松島市野蒜ヶ丘1-15-1）
「JR野蒜駅」から徒歩1分。

FAXでお申し込みの際は、下記にご記入のうえ、送信してください。			
ふりがな 名前	生年月日	学年	ふりがな 保護者名
	20　年　月　日		
〒・住所		当日に連絡のつく電話番号・FAX	
〒		TEL FAX	